

GUIDE OF Concerning Stock 株主優待のご案内

株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚数	乗車券を選択された株主様	枚数
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	1,000株 につき3枚		
20,000株以上 34,000株未満		60枚		
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚		90枚
48,000株以上 100,000株未満	当社線全線・京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	1枚		120枚
100,000株以上 300,000株未満		2枚	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	240枚
300,000株以上 500,000株未満		3枚	変更可	360枚
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚		600枚
1,000,000株以上		10枚		1,200枚

株主優待乗車証・優待乗車券選択方式のご案内

株主優待乗車証発行対象(34,000株以上ご所有)の株主様が、株主優待乗車券を希望される場合は、株主優待乗車証に替えて株主優待乗車券を発行いたします。

乗車券への変更方法

同封の乗車券変更希望ハガキに、株主様の氏名・届住所・電話番号・株主番号・所有株数をご記入いただき、平成24年2月29日までに到着するよう、ご投函下さい。
次回株主優待送付分(平成24年6月下旬予定)より継続して、乗車券(きっぷ)をお送りします。

同封のハガキに必要事項を記入のうえ投函
(平成24年2月29日必着)

乗車券(きっぷ)への変更を登録

〈平成24年6月〉
乗車券(きっぷ)をご送付
(以降は乗車券をお送りします)

京阪グループ諸施設株主ご優待

1,000株以上ご所有の株主様は、京阪グループの諸施設をご優待価格でご利用いただけます。

①京阪グループ株主ご優待カード(何度でも利用可)

- 京阪グループホテル 宿泊20～40%割引
- ホテル内レストラン 飲食10～20%割引
ステーキハウス近江 飲食20%割引
- 大阪水上バス 20%割引
琵琶湖汽船 20～30%割引
- 浜大津アーカス ボウリング・カラオケ割引
- 比叡山坂本ケーブル 20%割引
- 比叡山ドライブウェイ・奥比叡ドライブウェイ 通行料金割引
- 京阪園芸 10%割引
ガーデンミュージアム比叡 20%割引
- 琵琶湖ホテル「るりの湯」 入浴料金割引

②京阪グループ諸施設ご優待割引券(クーポン)

- ひらかたパークのりものフリーバス割引券2枚
- パンナテ(天満橋駅) 飲食10%割引券5枚
- 京阪百貨店 お買物10%割引券20枚
- くずはゴルフ場 割引券2枚

ひらかたパークご招待



ひらかたパーク株主ご招待入園引換券2枚(ご招待用乗車券4枚付)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

送付時期(年2回)および有効期間

対象	送付時期	乗車証の有効期間	乗車券・ひらかたパークご招待券 諸施設株主ご優待の有効期間
3月31日現在の株主様	6月下旬	7月11日～1月10日	ご到着日～1月10日
9月30日現在の株主様	11月下旬	1月11日～7月10日	ご到着日～7月10日

※当社株主優待制度の詳細については、当社ホームページをご覧ください。

京阪電気鉄道株式会社

〒540-6591

大阪市中央区大手前1丁目7番31号

株式担当 TEL(06)6944-2521 広報担当 TEL(06)6945-4585

ホームページアドレス: <http://www.keihan.co.jp/>

京阪

第90期 中間期

株主通信

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



第90期中間期株主通信をお届けするにあたり、株主のみならず、皆さまの平素からのご厚情に、心から御礼申し上げます。

平成23年度中間期の業績について

当中間期(第2四半期累計期間)の京阪グループは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこない、業績の向上に努めました結果、連結四半期純利益は39億3千6百万円、当社単体の四半期純利益は36億5百万円となりました。また、当期の中間配当は1株につき2.5円といたしました。今期におきましても、当社の基本配当政策である年5円配当を実施できる見込みであり、来期以降も継続して年5円以上の配当を実施することを目標としてまいります。

「安全とチャレンジ」を経営の方針に

6月の社長就任に際し、私は今後の経営の方針として「安全とチャレンジ」を掲げました。鉄道100年の長い歴史で培われた「安全・安心」は、何があっても失ってはならないものです。鉄道事業におきましては、マネジメント体制の整備・運用とともに常にレベルアップを図り、日々安心してご利用いただけるよう、安全性の確保に真摯に取り組んでまいります。

一方で、時代の変化を見極め、ビジネスチャンスには果敢に「チャレンジ」し、京阪グループの持続的成長を実現することが、株主のみならず、皆さまのご期待や社会の要請に応え続けるための必須条件です。魅力ある京阪沿線づくりを進めるとともに、成長が見込まれる事業につきましても、長年培ってきたノウハウを生かし、沿線外での積極的な展開にもチャレンジしてまいります。

当中間期は、不動産業において東京都港区のオフィスビル「虎ノ門5森ビル」を取得するなど、将来の成長と安定的収益

代表取締役社長
 CEO兼COO
 執行役員社長

加藤 好文



基盤の構築に向け、不動産賃貸業の強化・拡大を図りました。またホテル事業において京都駅前のハイクラスホテル「京都センチュリーホテル」を取得しました。京阪グループの最重要エリアの一つとして位置づける京都におきましては、ホテル事業の強化に加え、秋の観光シーズンには大阪から京都まで「ノンストップ京阪特急」を運転したほか、JR西日本との乗り換えに便利な東福寺駅「のりかえ口」の使用を開始するなど、観光事業の取り組みを強化しております。10月には当社のホームページをリニューアルオープンしました。今後も事業における取り組みをはじめ、京阪グループの旬な情報やお得な情報をタイムリーにお届けしてまいります。

京阪グループは引き続き、強靱な経営基盤の構築に向けた取り組みを進めるとともに、これからもより多くのお客さまに「京阪がいい」と積極的に選んでいただけるようなサービスや商品を創出し、地域社会の発展に貢献することで、企業価値・株主価値の最大化に努めてまいります。

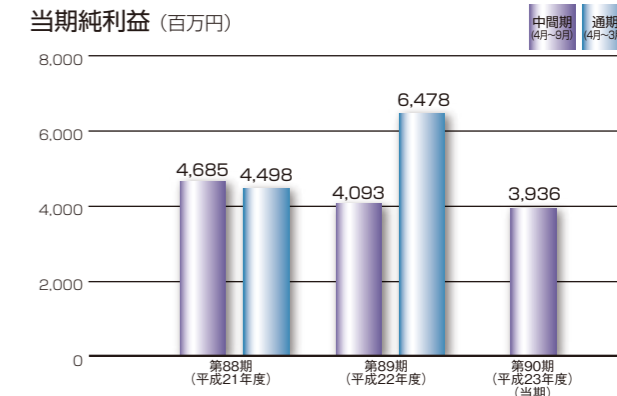
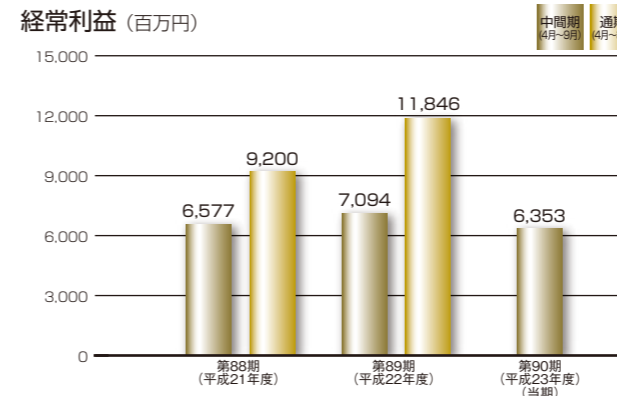
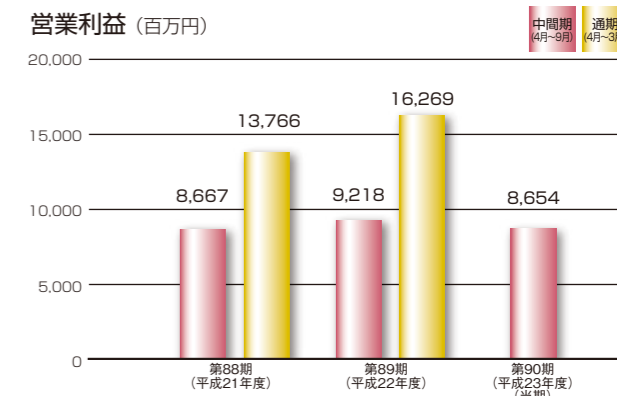
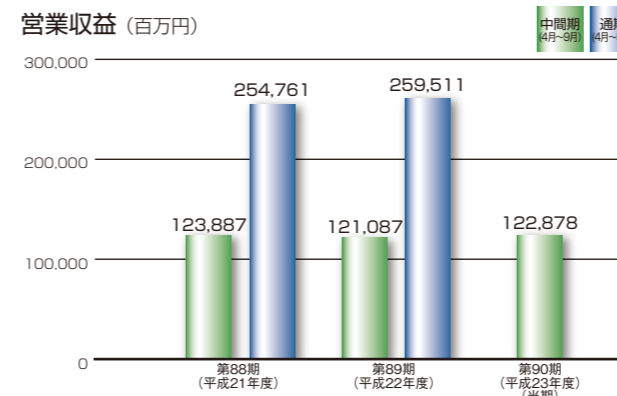
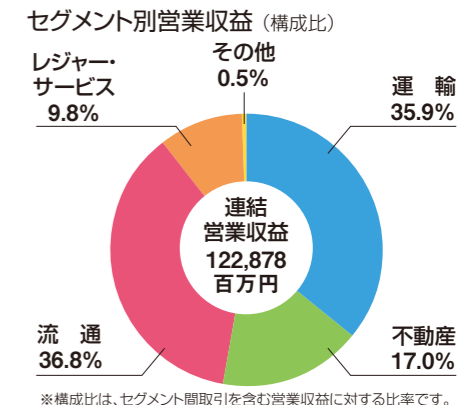
株主のみならず、皆さまには、今後も一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくご厚情申し上げます。

平成23年11月

平成23年度中間期の連結業績について

当中間期(第2四半期累計期間)のわが国経済は、サプライチェーンの立て直しなどにより、東日本大震災による落ち込みから持ち直しつつありますが、期の後半にかけては、欧州債務問題や米国経済減速などの影響もあって株式市場の低迷や円高が続いており、先行き不透明感が強くなっております。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めましたが、当中間期の営業収益は1,228億7千8百万円(前年同期比:1.5%増)、営業利益は86億5千4百万円(前年同期比:6.1%減)、経常利益は63億5千3百万円(前年同期比:10.4%減)、四半期純利益は39億3千6百万円(前年同期比:3.8%減)となりました。



Segment Information

セグメント別の概況

運輸業



営業収益： 46,179百万円 (前年同期比: 4.9%減)
 営業利益： 3,490百万円 (前年同期比: 18.6%減)

鉄道事業におきましては、淀駅付近立体交差化工事の進捗に伴い、同駅の高架上り線ホームの使用を開始し、京阪線においてダイヤを改定いたしました。そのほか、8000系特急用車両のリニューアル工事や、東福寺駅におけるJR奈良線との「のりかえ口」設置工事などを推進いたしました。また、京福電気鉄道(嵯峨山線)において交通ICカードシステムを導入し、同社の「らんでんカード」、「PiTaPa」および「ICOCA」が利用可能となりました。さらに、京阪線の全設置対象車両に運転状況記録装置の設置を完了するなど、運転保安の強化に向けた取り組みも推進いたしました。

流通業



営業収益： 47,308百万円 (前年同期比: 3.7%増)
 営業利益： 710百万円 (前年同期比: 12.6%減)

百貨店業におきましては、昨年10月に開業した「京阪百貨店すみのどう店」が通期で寄与いたしましたほか、「京阪百貨店守口店」において、食品フロアのリニューアルを実施するなど、競争力の強化を図りました。

ショッピングモールの経営におきましては、4月28日、都心型専門店ブランドを新規導入するなど、「KUZUHA MALL」本館の一部リニューアルを実施し、施設の魅力向上および収益力の強化を図りました。

不動産業



営業収益： 21,890百万円 (前年同期比: 8.2%増)
 営業利益： 4,047百万円 (前年同期比: 10.0%増)

不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「ローズヴィレッジくずし」「東豊中プレミアム」などの土地建物を販売いたしました。また、マンションでは、「ビジュアル琵琶湖 京阪浜大津」「ザ・香里園タワー」「ファインレジデンス西新井」「グランファースト千里桃山台」などを販売いたしました。

不動産賃貸業におきましては、更なる事業の拡大・強化をめざし、東京都において賃貸ビル「永新ビル」「みかみビル」「虎ノ門5森ビル」をそれぞれ取得いたしました。また、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。

レジャー・サービス業



営業収益： 12,513百万円 (前年同期比: 4.2%増)
 営業利益： 432百万円 (前年同期比: 25.9%減)

ホテル業におきましては、京阪グループが最重要エリアの一つと位置づけている京都における事業強化を目的として、(株)京都センチュリーホテルの株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。これにより、当社グループがJR京都駅周辺において運営するホテルは計5店舗となり、多様なグレードの客室を提供できる体制となりました。また、国内団体旅客の誘致にも積極的に取り組むなど、東日本大震災による海外旅客の落ち込みの回復に努めました。

Financial Statements

財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	122,444	流動負債	161,959
現金及び預金	14,487	支払手形及び買掛金	9,043
受取手形及び売掛金	16,953	短期借入金	92,367
販売土地及び建物	75,572	前受金	19,398
繰延税金資産	3,264	その他	41,149
その他	12,166	固定負債	316,706
固定資産	493,516	社債	81,394
有形固定資産	438,264	長期借入金	140,640
建物及び構築物	184,466	長期未払金	6,421
機械装置及び運搬具	11,596	退職給付引当金	15,365
土地	212,920	その他	72,885
建設仮勘定	21,001	負債合計	478,665
その他	8,279	(純資産の部)	
無形固定資産	10,178	株主資本	106,021
投資その他の資産	45,073	資本金	51,466
投資有価証券	29,648	資本剰余金	28,818
繰延税金資産	5,431	利益剰余金	27,087
その他	9,992	自己株式	△ 1,351
資産合計	615,961	その他の包括利益累計額	28,704
		その他有価証券評価差額金	2,923
		土地再評価差額金	25,781
		少数株主持分	2,569
		純資産合計	137,295
		負債純資産合計	615,961

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2 有形固定資産の減価償却累計額 365,206百万円

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,045
現金及び現金同等物の増減額	△ 12,379
現金及び現金同等物の期首残高	26,746
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	13
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,381

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

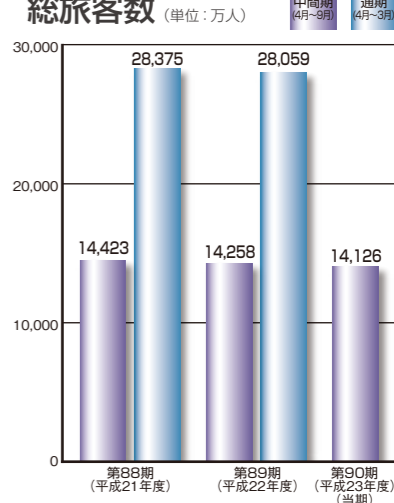
四半期連結損益計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)
 (単位: 百万円)

科目	金額
営業収益	122,878
営業費用	114,224
営業利益	8,654
営業外収益	854
営業外費用	3,155
経常利益	6,353
特別利益	1,248
特別損失	791
税金等調整前四半期純利益	6,810
法人税、住民税及び事業税	2,872
法人税等調整額	△ 180
少数株主損益調整前四半期純利益	4,118
少数株主利益	181
四半期純利益	3,936

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社 総旅客数



KEIHA INDICES 京都観光への取り組み

京阪グループが最重要事業エリアの一つに位置づける国際観光都市「京都」において、交通やホテルを中心に、観光目的のお客さまに対する事業展開を推進しています。

秋の観光シーズンに「ノンストップ京阪特急」を運転

当社では、今秋の観光シーズンの土休日、大阪から京都までの電車の旅を快適にお過ごしいただける「ノンストップ京阪特急」を運転しています。

10月22日(土)から12月4日(日)までのすべての土休日、京都への行楽や気軽な旅行に便利な午前中に2本を運行。大阪市営地下鉄各線との乗り換えに便利な淀屋橋始発とし、京橋を



出ると京都の七条まで途中の駅には止まりません。また、車両にはダブルデッカー車(2階建て車両)や2人がけシートを備えた8000系を使用しています。なお、「ノンストップ京阪特急」は来春にも運転を予定しています。

東福寺駅「のりかえ口」の使用を開始

当社とJR西日本では、11月6日(日)から、東福寺駅の当社出町柳方面行きホームと、JR奈良線の奈良方面行きホーム間を階段を使用せずに乗り換えていただける「のりかえ口」の使用を開始しました。

当社では、平成19年から、JR京都駅から東福寺駅を經由して、祇園・清水といった観光スポットに程近い京阪線の各駅にお客さまをご案内する取り組みをJR西日本と共同で実施しており、「のりかえ口」の設置もその一環です。なお、これら一連の取り組みは、京都市がめざす「歩くまち京都」の実現に向けた取り組みのひとつでもあります。



京都定期観光バスで車内外国語案内システムを導入

京阪バス(株)は、10月1日(土)から、京都定期観光バス車内でGPSを利用した車内外国語案内システムの使用を開始しました。これは、訪日外国人観光客を主なターゲットとするサービスで、バスの走行に合わせ、車内モニター映像と英語・中国語・韓国語の3カ国語音声により、史跡・名所の観光案内を行うものです。



京都定期観光バスは、京都駅、三条京阪を拠点に毎日運行しており、同システムを使用したコースは、清水寺、金閣寺といった人気の名所を巡っています。同社では、今後もお客さまへの快適なサービスの提供に取り組んでいきます。

(株)京都センチュリーホテルの株式を取得

7月25日(月)、当社は(株)京都センチュリーホテルの発行済株式のうち99.72%を取得。10月13日(木)には残りの株式について株式交換を行い、同社を完全子会社化しました。

同ホテルはJR京都駅から徒歩2分の好立地にあり、「京料理嵐亭」「鉄板焼 ポヌール」などのハイレベルな飲料施設を有するフルサービス型のハイクラスホテルとして高い評価を得ています。京阪グループが同駅前で運営する「京都タワーホテル」「ホテル京阪京都」などの4ホテルと合わせ、国内外のお客さまのニーズに応じてさらに多様なグレードのホテルを提供することが可能となりました。



KEIHA INDICES 京阪トピックス

当社のホームページをリニューアルオープン

10月20日(木)、当社のホームページをリニューアルオープンしました。今回のリニューアルでは、お客さまの利用目的に応じたサイト構成・デザインに改めることで、さらなる利便性の向上をめざしています。

「電車・駅のご案内」「沿線おでかけ情報」(おけいはん、ねっと)など、既存ページの充実を図ったほか、京阪グループの企業活動や沿線風景を写真でつづり、お客さまに提供したい価値を表現した「こころまち つくろう」、京阪グループのお得な営業情報をお届けする「京阪グループおトク情報」のページを新設しました。ぜひご利用ください。

ホームページアドレス
<http://www.keihan.co.jp/>



大津線で人気アニメのラッピング電車を運行

大津線では、現在、人気アニメとタイアップしたラッピング電車を多数運行しています。

幅広い年代層に人気を博した『まんが日本昔ばなし』や人気アニメシリーズの劇場版作品・映画『けいおん!』のほか、『ガンダム』シリーズ最新作『機動戦士ガンダムAGE』などとタイアップ。映画『けいおん!』とのタイアップでは、特製乗車券の限定発売も行い、発売初日には多くのお客さままでにぎわいました。

これらは、大津線沿線内外から広く誘客に努めることで、大津地域の活性化に寄与することを目的に実施しており、今後も楽しいラッピング電車を運行する予定です。



©かきふらい・芳文社/桜高軽音部
©創通・サンライズ・毎日放送

「びわこ号復活プロジェクト」が本格始動

寝屋川市と当社による「京阪電車寝屋川車両基地びわこ号復活プロジェクト」が、総合プロデューサーに大阪府立大学教授の橋爪紳也氏、プロジェクト・アドバイザーに漫才師の中川家礼二氏を迎え、本格的に始動しました。

7月から車両復活に必要な資金を積み立てる「寝屋川市びわこ号復活基金」を設置し、受付を開始しているほか、当社ファミリーレールフェアでのPR活動などを通じて気運を盛り上げています。

平成26年度の寝屋川車両基地内での走行をめざし、取り組みを進めていきます。



沿線タイムズにてパーク&ライドサービスを開始

当社とタイムズ24(株)は、7月29日(金)から当社沿線の「タイムズ桃山六地藏住宅博」「タイムズ京阪六地藏駅前」「タイムズ中之島第5」「タイムズ門真駅前第7」の各駐車場で「交通ICパーク&ライドサービス」を開始しました。このサービスは、IC乗車券に記録された当社線の乗降履歴に応じてタイムズ駐車場の料金を自動で優待するもので、パーク&ライドの推進によって駅へのアクセス機能が上がり、鉄道利用の促進が図られることを期待しています。

また今回導入した、PiTaPaとICOCAのどちらでも支払い可能な決済サービスは、全国の時間貸駐車場で初の試みとなります。今後もお客さまに利便性の高いサービスを提供することで、環境負荷を低減する快適な街づくりを推進していきます。

「ひらかたパーク 世界一の遊園地へ」

ひらかたパークでは、平成23年度の新企画として「ひらかたパーク 世界一の遊園地へ」を実施しています。

7月3日(日)には、第1弾として同園のプール「ザ・ブーン」で「スイムキャップ一斉着人数世界一」、10月16日(日)には、第2弾「一斉にシャツの襟を立てた人数世界一」の記録に挑戦。



どちらも多数の参加者を集め、ギネス世界記録™に認定されました。

いずれの日も、公式認定員の立ち会いの下、2代目ひらパー兄さんのブラックマヨネーズ・小杉竜一さんと一般参加の来園者が協力して挑戦。昨年ひらパー兄さん選挙に敗れた同・吉田敬さんも計測員を務めました。

「ベトナム ハノイ5号線整備事業準備調査」に参画

独立行政法人国際協力機構(JICA)が行う第3回「協力準備調査(PPPインフラ事業)」公募に対し、当社が社団法人海外鉄道技術協力協会と(株)野村総合研究所と共同で応募提案した「ベトナム ハノイ5号線整備事業準備調査」が、8月31日(水)に本契約に至り、現在調査を進めています。

今回の提案は、鉄道建設後の運営管理(駅サービス、運行管理から日常メンテナンス全般)を行うことができる鉄道事業者として、長年日本で培ったノウハウを、ベトナム都市鉄道の建設・運営に関する調査に生かせるものと判断して行ったものです。

経済成長著しいベトナムでは、現在、鉄道などの基礎的インフラの整備が進められています。「ハノイ5号線」は同国の都市鉄道整備計画路線のなかでも、優先度の高い路線となっています。

中国・瀋陽市で複合開発プロジェクトに参画

当社は、中国東北部の主要都市である瀋陽市で複合開発プロジェクトに参画しています。

これは、中国最大手のデベロッパーである万科グループや東京建物(株)と共同で行うもので、「瀋陽明天広場プロジェクト」と「瀋陽春河里プロジェクト」の両計画において、大規模な分譲住宅(マンション)を中心に、商業施設、オフィスなどを開発・供給する予定です。



瀋陽市は、中国東北部最大の経済・文化・交通などの中心都市です。人口は786万人(平成21年)で、日系企業も多数進出しています。

瀋陽明天広場プロジェクト完成予想図

「京阪ファーストリフォームプラザ」がオープン

京阪電鉄不動産(株)では、7月8日(金)、京阪グループ初となるリフォームショールーム「京阪ファーストリフォームプラザ」を京阪東ローズタウン内にグランドオープンしました。

これに合わせ、見積り目の迅速さと価格の透明性が強みの定額制リフォームプラン「K-PAC」の発売を開始。価格への安心感はもちろん、優れたデザイン提案力と保証・アフターサービスをお客さまに提供しています。

京阪グループでは、リフォーム事業のほか、先般参入した「移住・住みかえ支援事業」など、住まいに関するコンサルティング・ソリューション事業に取り組んでまいります。



東京都港区のオフィスビル「虎ノ門5森ビル」を取得

8月19日(金)、当社は東京メトロ銀座線虎ノ門駅近くのオフィスビル「虎ノ門5森ビル」を取得しました。

同ビルは、東京都が進めている環状第二号線新橋・虎ノ門地区第二種市街地再開発事業エリアの北側という、将来大きく環境が変わることが期待されるエリアに位置しています。周辺では細街路の再編による街づくりの検討も進んでおり、将来を見据えた街づくりの検討にも積極的に取り組んでいく予定です。



京阪グループでは、今後も積極的に物件情報を入手し、戦略的に投資を続けることにより、不動産賃貸事業の事業規模・事業エリアの拡大を進めていきます。

据えた街づくりの検討にも積極的に取り組んでいく予定です。

京阪百貨店守口店 地階食品フロアをリニューアルオープン

(株)京阪百貨店では、11月10日(木)、守口店の地階食品フロアをリニューアルオープンしました。

これは、同百貨店の強みである食品売り場をリニューアルし、さらに強化しようというものです。鮮魚、青果などの専用レジをなくして集中レジ化し、また一部通路を広くすることで、明るく見やすい売り場となり、お買い物にもさらに便利になりました。また、諸国銘産を取り扱う「美味衆合」、銘菓を取り扱う「美味折々」の品揃えを充実させたほか、食品進物カウンターもお客さまによりゆっくりと品物をお選びいただけるようになっていきます。

和洋菓子とイートインコーナーもさらに充実しています。



水辺の新拠点が続々オープン

大阪水上バス(株)では、9月19日(月・祝)、淀屋橋港にカフェ&バル「miobar(ミオバル)」をオープンしました。クルーズ乗船時以外にも気軽に飲食を楽しめるスポットとして、水都大阪の新名所となることが期待されます。

また、7月24日(日)には、天満橋「川の駅はちけんや」に、同社が連携運営に参加する交流拠点「にぎわいXing(クロスニング)」がオープン。川面を望みながら食事ができる常設施設のほか、様々なイベントや水辺活動などを通じ、ヒト・モノ・コトが集まるにぎわいの拠点として、「川の駅はちけんや」の魅力向上に取り組んでいきます。



miobar(ミオバル)

JTBグループとの連携を開始

7月1日(金)、京阪グループとJTBグループは、関西への観光客誘致などに関する事業連携を開始しました。

これは、京阪グループが観光事業においてさらなる飛躍をめざす上で、JTBグループと強く結びつき、お互いの有する経営資源を最大限活用することが最善の方法であると判断したものです。当社が進めている国内外から関西への誘客施策についても、豊富なノウハウを持つJTBグループとの連携を強化することにより、シナジー効果を発揮できるものと考えています。

また、同日から、京阪電車の駅構内などで営業する京阪交通社各店は、京阪グループとJTBグループの共同出資会社「JTB京阪トラベル」の店舗として営業を開始。これに伴い、(株)京阪交通社は9月30日(金)付で解散しました。

KEIHAN (Corporate Information)

京阪 会社情報

会社の概要 (平成23年9月30日現在)

- 設立 昭和24年11月25日(12月1日営業開始)
(創立:明治39年11月19日)
- 資本金 51,466,416,776円
- 発行可能株式総数 1,595,886,000株
- 発行済株式の総数 565,913,515株
- 株主数 56,455名
- 従業員数 1,655名
- 本社事務所 大阪市中央区大手前1丁目7番31号
- 主要な事業内容
 - ①鉄道事業(鉄軌道による旅客運輸)
 - ②不動産事業(土地建物の販売および賃貸)
 - ③レジャー事業(遊園地などの経営)
- 営業キロ 91.1km
- 車両数 718両

役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長 CEO兼COO 執行役員社長	加藤 好文	執行役員	下條 弘
代表取締役 専務執行役員	小川 雅人	執行役員	向井 寛行
取締役 常務執行役員	脇 博一	執行役員	永井 博
取締役 常務執行役員	末近 義治	執行役員	塩田 正
取締役 相談役 取締役会議長	佐藤 茂雄	執行役員	木村 靖夫
取締役	佃 和夫	執行役員	三浦 達也
取締役	北 修爾	執行役員	太刀川 克己
監査役(常勤)	中田 努	執行役員	浅井 栄一
監査役(常勤)	井関 隆政		
監査役	家近 正直		
監査役	上野 至大		
監査役	林 恭造		

京阪グループネットワーク (平成23年11月現在)

- 運輸業
 - 京阪電気鉄道(株)
 - 叡山電鉄(株)
 - 京福電気鉄道(株)
 - (株)京阪エンジニアリングサービス
 - (株)京阪レジャーサービス
 - 中之島高速鉄道(株)
 - (株)京阪ステーションマネジメント
 - (株)京阪エージェンシー
 - 京阪ライフサポート(株)
 - 京阪バス(株)
 - 京阪シティバス(株)
 - 京阪京都交通(株)
 - ケービー・エンタープライズ(株)
 - 京阪宇治バス(株)
 - 江若交通(株)
 - (株)ザ・コジャック
 - 京都バス(株)
 - ケーター自動車工業(株)
- レジャー・サービス業
 - (株)琵琶湖ホテル
 - 琵琶湖ホテルサービス(株)
 - (株)ホテル京阪
 - (株)京阪アーバンシステムズ
 - (株)京阪リゾートシステムズ
 - 京都タワー(株)
 - (株)京都センチュリーホテル
 - 琵琶湖汽船(株)
 - 琵琶湖汽船サービス(株)
 - びわこフードサービス(株)
 - 大阪水上バス(株)
 - 比叡山鉄道(株)
 - (株)樟葉パブリック・ゴルフ・コース
 - 比叡山自動車道(株)
 - (株)ガーデンミュージアム比叡
- その他
 - (株)大阪マーチャндаイズ・マート
 - (株)京阪ビジネスマネジメント
 - (株)京阪カード
 - (株)はちけんや

■ 不動産業

- 京阪カインド(株)
- 京阪電鉄不動産(株)
- 京阪産業(株)
- (株)かんこう
- (株)文化財サービス
- 京阪園芸(株)

■ 流通業

- (株)京阪流通システムズ
- (株)京阪百貨店
- (株)京阪友の会
- (株)京阪ザ・ストア
- (株)京阪レストラン
- (株)ジューサーバー・コーポレーション

表紙題字は加藤好文

GUIDE OF (Concerning Stock)

株式についてのご案内

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

ご所有株式のうち、単元未満株式(1,000株未満の株式)につきましては、次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

単元未満株式の買増制度

当社に対して、単元株式(1,000株)に不足する株式数の市場価格による売り渡しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて、1,000株にすることができます。

単元未満株式の買取制度

当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取りを請求することができます。

〈買増・買取制度の例〉



■ 買増請求・買取請求に関する手続きのお申し出先

証券会社の口座で管理されている株主様	▶ お取引証券会社 (別途手数料が必要となる場合があります)
特別口座が開設された株主様	▶ 中央三井信託銀行 証券代行部 (フリーダイヤル)0120-78-2031

株主メモ

■ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会 6月

■ 基準日 3月31日

定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日(行う場合)

■ 株主名簿管理人 中央三井信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

■ 郵便物送付先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)

0120-78-2031

(銀行営業日の9:00~17:00)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■ 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 電子公告掲載 ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/koukoku/>

■ 各種手続きのお申し出先

未払配当金の支払い請求	▶ 中央三井信託銀行(株主名簿管理人)
住所変更、相続、単元未満株式の買増請求・買増請求、配当金受取方法の指定等	証券会社の口座で管理されている株主様 ▶ お取引証券会社
	特別口座が開設された株主様* ▶ 中央三井信託銀行(特別口座管理機関)

*証券会社の口座で管理されていない株式は、当社が中央三井信託銀行に開設した「特別口座」にて管理されております。特別口座では、株式の売買等はできません。売買等を行うには、証券会社に口座を開設したうえで、株式の振替手続きをしていただく必要があります。